



2020年7月14日

差枚

-約1900枚  
-約750発

RANK

C

## 実戦機種

パチスロ攻殻機動隊S.A.C 2nd GiG、SLOT魔法少女まどか☆マギカ2  
パチスロ北斗の拳 修羅の国篇、戦国乙女2～深淵に輝く気高き将星～ ほか

## 実戦レポート

「今日も朝からパチスロが打てる～♪」なんつっていつも通りにスキップしながら(一部誇張)家を出たのだが、ホールの最寄り駅に着くとけっこうな雨が降っていて、けっこうビショビショになりながら引いた番号は「70番」ぐらいだったと思う。無論、バジリスク絆2をはじめとするメイン機種や、本日の当りとして選ばれそうな末尾数字の台はなかなか取れないだろうが、この時点でもまだ「まあ、入店してから探せばいいや～」ぐらいに思っていた。実際、そうするしかないしな。

ただ、いざ入店して本当にバラエティコーナーに至るまであらゆる台が埋まっており、もうジャグラーとわずかの少数台機種しか残っていないぞとなった時、わずかに不安を覚え始めたのを覚えている。一応、ジャンルとしては好みであるボーナス+ARTタイプというだけの理由で「パチスロ攻殻機動隊S.A.C 2nd GiG」を打ち始めたが、10K使ってCZを2回スカったところで「これは危ない」と感じてヤメ。ヤメたはいいが、次に座る台が無い。このS級スロッターの実戦でも過去トップクラス級に、ホール内を歩きまわる日になったと思う。

さすがに昼頃になると好調台と不調台が見え始め、ポチポチ空き台も出てきた。そろそろオレの本領発揮だな！と、ここまでの戦況を頼りに全台系狙い、末尾狙い、バラエティ狙いの三本柱で攻め始めるが、打つ台打つ台ことごとく何も起こりやしない。台移動する度にコンスタントに負債を増やしていき、ようやく「当りの末尾はこれかな？」と判明してから、該当末尾で空き台になっている「パチスロ北斗の拳 修羅の国篇」や「戦国乙女2～深淵に輝く気高き将星～」を打って、なぜかその2台だけ物が非常に転がりやすそうな下り坂のスランプグラフを作り出し(だから空いているんだろうが)、オレの傷口はさらに広がった。しかし、たとえ設定1ばかりを打ったとしても、もうちょっと何かあってもいいだろうに。

こうなってくると人間は「だったら設定1でも何とかなる機種を打つわ！」となりがちだが、そうして選んだハナビやディスクアップも事態を好転させるには至らず、ボーナスをちょちょいと引いてノマれるまで、幾ばくかの時間を稼いだだけであった。最後の手段で繰り出した「パチンコでの反撃」も空振りに終わり、帰りの電車で冷静に思い返す。店内に高設定が無かったわけではない。全台高設定機種も当り末尾も確かにあった。あったのだが、入店してから退店するまでの間に、自分がそれに座れる可能性はあっただろうか…。いや、どのタイミングでどう立ち回ったとしても、おそらく辿り着くのは相当に難しかっただろうな。にしても負け過ぎだろ!!